

(航空機産業人材育成) 機械加工 生産技術セミナー



本セミナーは、機械加工に関連する重要な知識・技術を基礎として品質と製造効率の向上を図ることができる技術人材や現場指導者の育成を目的としています。

セミナー第1部では機械加工に必要な幾何公差と表面粗さについて学び、図面上の要求仕様を読み解く力を養います。第2部では部品製造におけるDX推進を図るために3D-CAD(CATIA)のデジタルデータを活用した治工具の設計技法やNCプログラム設計技法を学びます。



日時

令和6年(2024年)1月19日(金) 13:10~16:40 (受付 12:45~)

会場

飯田市座光寺 3349-1 エス・バード B201,B202 会議室

内容

【第1部】 13:10 ~ 14:40

「図面を読み解く基礎力 ~幾何公差と表面粗さ~」

幾何公差(幾何公差の必要性、幾何公差の種類、データム、最大実体公差、独立の原則と包絡の条件)、表面粗さ(粗さをなめらかにするメリット、粗さの評価方法、測定方法)など

講師:三菱重工業株式会社 民間機セグメント 技術部 設計2グループ
複合材設計チーム 畑中 篤之 氏

三菱重工業(株)入社後、Boeing 787 主翼 維持・改善設計 / 777-8F 主翼 開発設計に従事

【第2部】 14:45 ~ 16:15

「部品製造におけるDX ~治工具設計/NCプログラムにおけるCATIA活用~」

CATIAの概要、組立治具設計におけるCATIA活用(組立治具の機能、機体データ、治具設計フロー、フルソリッド設計、他)、NCプログラムにおけるCATIA活用(定義、工具軌跡と加工条件の設定、CAD/CAM上での確認、NC DATAへの変換と検証)など

講師:三菱重工業株式会社 民間機セグメント 生産技術部 名古屋生産技術課
メカトロ推進・治工具設計チーム 主席チーム統括 金田一 智章 氏

三菱重工業(株)入社後、新設橋梁工事/既設橋梁の耐震補強工事の設計に従事。航空機製造部門に異動後、Boeing787 主翼、777-9 後胴、H2B/H3 ロケット、官需機種などの開発プロジェクトに従事。部品・組立治具設計/部品加工用 NC プログラム/自動化設備導入などをマネジメント

名刺交換会 16:20 ~ 16:40 (飲食は伴いません。)

対象者

長野県内に事業所を有する企業

定員

30名

受講料

無料

申込方法

受講申込書をメールまたはFAXにてご送付ください。

Email: aerospace@nice-o.or.jp FAX:0265-49-8048

締め切り:R6年1月15日(月) 定員になり次第締め切り